

【子育て支援施設編】

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	すみれ保育園			
-----	--------	--	--	--

大分類	子育て支援施設	中分類	幼保・こども園	施設番号	120
-----	---------	-----	---------	------	-----

所管部課	子ども家庭課
------	--------

1 土地データ

所在地 (地区)	広葉町2丁目4番地1	敷地面積	2,532 m ²
	(北広島団地)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和49年度
建物構造	SB	延床面積	725 m ²	経過年数	44年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト	239,250千円	法定耐用年数	38年	市民1人当たり更新コスト	4,073円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態					
	111人	105人	人	108人	市直営					
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳		金額(千円)			
	収 入	利用料等		24,949		① 施設維持コスト	修繕料		497	
		国 費		1,094			火災保険料		10	
		道 費		1,970			維持管理委託料		4,506	
		その他		2,278			敷地借上料		-	
		市費(一般財源)		33,988			工事請負費		-	
	合 計		64,279		支 出	その他維持費		-		
						小 計		5,013		
						② 施設運営コスト	人件費		31,892	
							光熱水費		5,085	
				運営委託料			-			
				その他運営費		22,289				
				小 計		59,266				
				合 計(①+②)		64,279				
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり					
単位コスト	595175.9259円/人		1,094円/人		88,661円/m ²					



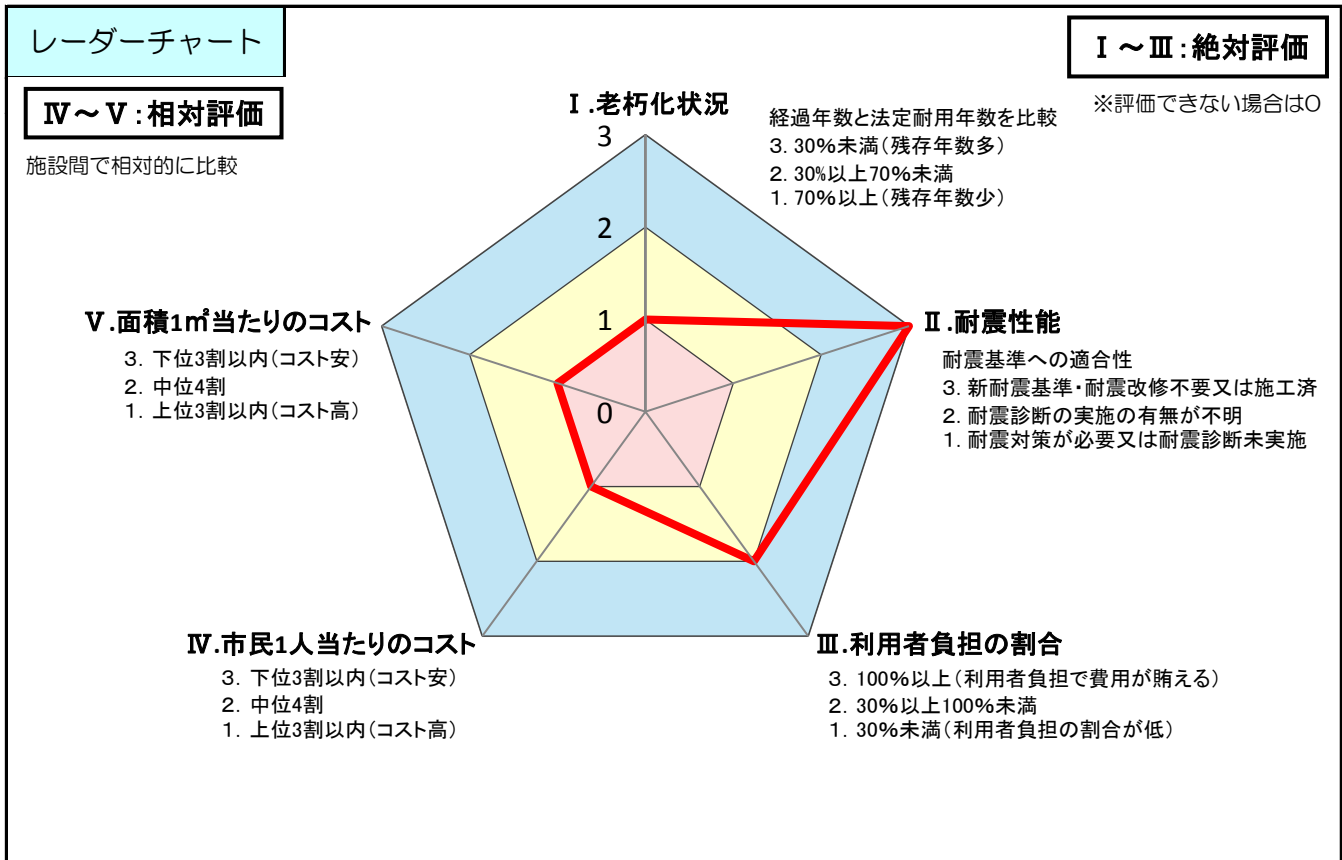
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H4	内部改修	15,296			
H4	内部改修その2	567			
H7	床改修	14,163			
H7	暖房機設置	4,717			
H16	鋼管煙突改修ほか	5,405			
H20	排水管等布設替え	3,150			
H24	児童用トイレ改修	1,880			
H28	遊戯室床等改修	4,266			

5 特記事項

維持管理委託料は他3園と延床面積により按分。利用者数は園児数。人件費は臨時・非常勤保育士分。

6 データ分析



レーダチャートで示す5つの指標

<p>I. 老朽化状況</p>	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>116 (%)</p>
<p>II. 耐震性能</p>	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>耐震性能あり</p>
<p>III. 利用者負担の割合</p>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>39 (%)</p>
<p>IV. 市民1人当たりのコスト</p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>1,094 (円/㎡)</p>
<p>V. 面積1㎡当たりのコスト</p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>88,661 (円/㎡)</p>
<p>総合評価</p>	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担の割合は標準的(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	すずらん保育園			
-----	---------	--	--	--

大分類	子育て支援施設	中分類	幼保・こども園	施設番号	121
-----	---------	-----	---------	------	-----

所管部課	子ども家庭課
------	--------

1 土地データ

所在地 (地区)	高台町7丁目4番地 (北広島団地)	敷地面積	2,631 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和52年度
建物構造	SB	延床面積	768 m ²	経過年数	41年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト	253,440千円	法定耐用年数	38年	市民1人当たり更新コスト	4,315円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
		85人	77人	人	81人	市直営		
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳			
	収 入	利用料等	11,506		支 出	①施設維持コスト	修繕料	4,042
		国費	104			火災保険料	11	
		道費	1,568			維持管理委託料	4,608	
		その他	1,806			敷地借上料	-	
		市費(一般財源)	42,333			工事請負費	-	
	合 計		57,317		その他維持費	-	小 計	8,661
					②施設運営コスト	人件費	24,411	
					光熱水費	3,702		
					運営委託料	-		
その他運営費					20,543			
				小 計	48,656			
				合 計(①+②)	57,317			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	707617.284円/人		976円/人		74,632円/m ²			

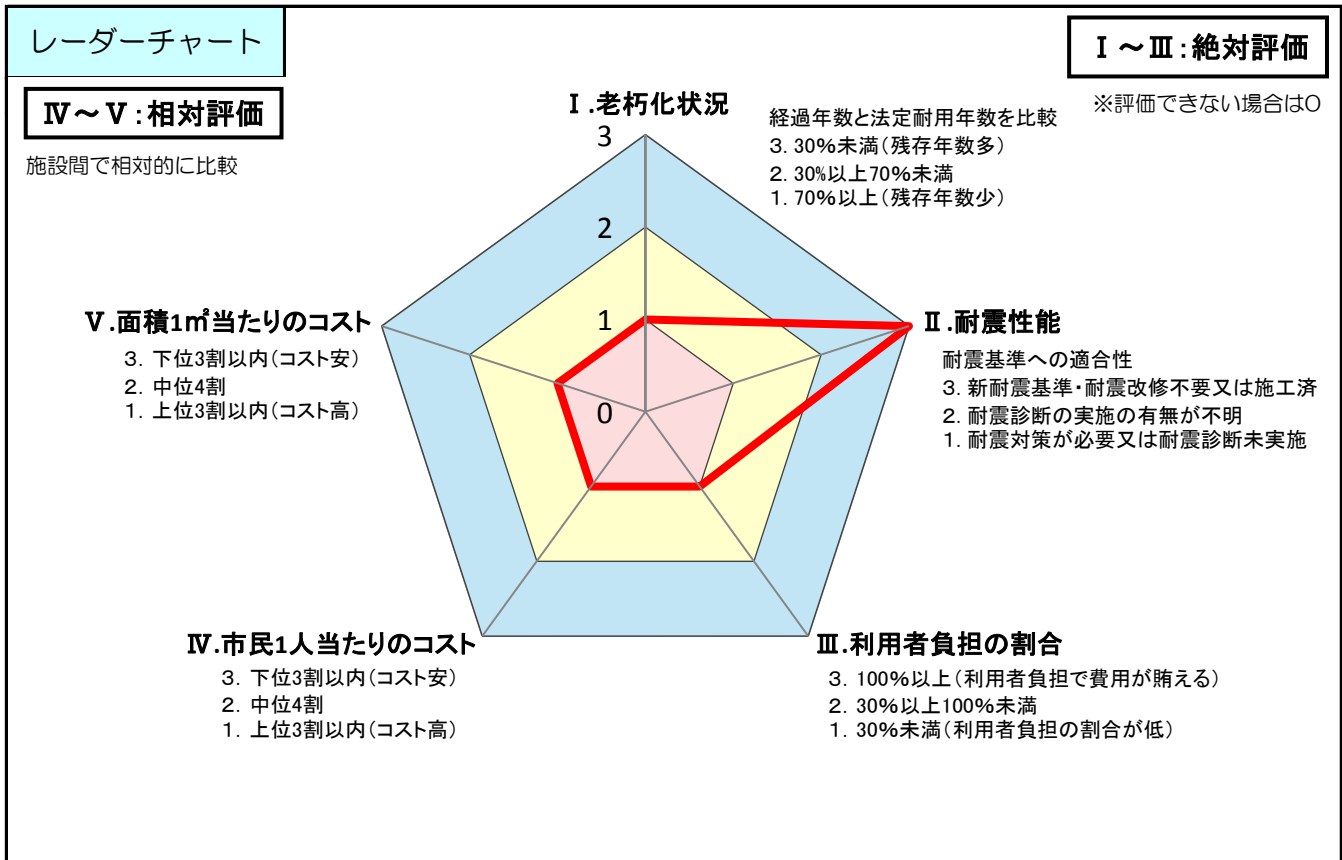
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H4	内部改修	1,339			
H7	未満児室床改修	937			
H11	外壁・屋根改修ほか	12,100			
H12	暖房機更新	6,405			
H16	鋼管煙突改修	1,250			
H22	給湯設備更新	2,583			
H22	給油設備改修	2,793			
H26	トイレ改修	3,165			
H29	内外部修繕	3,186			

5 特記事項

維持管理委託料は他3園と延床面積により按分。利用者数は園児数。人件費は臨時・非常勤保育士分。

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	108 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	20 (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	976 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	74,632 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担の割合は低い(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	稲穂保育園			
-----	-------	--	--	--

大分類	子育て支援施設	中分類	幼保・こども園	施設番号	122
-----	---------	-----	---------	------	-----

所管部課	子ども家庭課
------	--------

1 土地データ

所在地 (地区)	稲穂町東1丁目6番地1	敷地面積	1,999 m ²
	(東 部)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和56年度
建物構造	SB	延床面積	768 m ²	経過年数	37年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト	253,440千円	法定耐用年数	38年	市民1人当たり更新コスト	4,315円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態				
	100人	102人	人	101人	市直営				
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)		
	収 入	利用料等			21,156	①施設維持コスト	修繕料		1,800
		国 費			104		火災保険料		10
		道 費			1,199		維持管理委託料		4,413
		その他			2,936		敷地借上料		-
		市費(一般財源)			31,747		工事請負費		-
	合 計				57,142	その他維持費		-	
						小 計	6,223		
						②施設運営コスト	人件費	24,781	
						光熱水費	4,242		
					運営委託料	-			
					その他運営費	21,896			
					小 計	50,919			
					合 計(①+②)	57,142			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	565762.3762円/人		973円/人		74,404円/m ²				



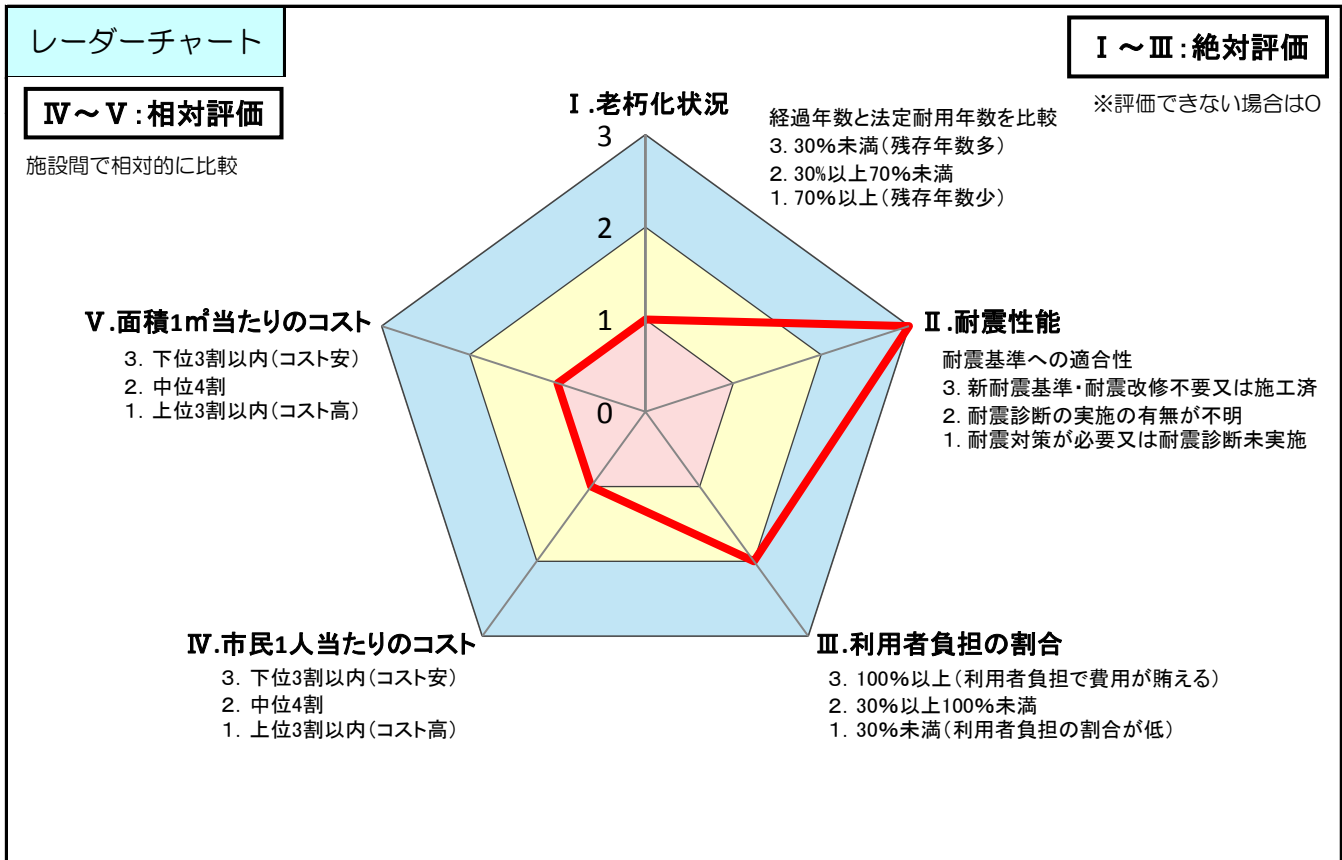
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H10	トイレ改修	1,838			
H11	地域子育て支援センター設置	3,759			
H14	外壁改修・屋上防水	14,700			
H14	暖房機更新	10,784			
H16	給排水管更新	4,515			
H22	調理室改修及び園舎改修	31,080			
H27	床修繕	3,294			

5 特記事項

維持管理委託料は他3園と延床面積により按分。利用者数は園児数。人件費は臨時・非常勤保育士分。

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<p>I. 老朽化状況</p>	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>97 (%)</p>
<p>II. 耐震性能</p>	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>耐震性能あり</p>
<p>III. 利用者負担の割合</p>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>37 (%)</p>
<p>IV. 市民1人当たりのコスト</p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>973 (円/㎡)</p>
<p>V. 面積1㎡当たりのコスト</p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>74,404 (円/㎡)</p>
<p>総合評価</p>	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担の割合は標準的(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	輪厚保育館			
-----	-------	--	--	--

大分類	子育て支援施設	中分類	幼保・こども園	施設番号	123
-----	---------	-----	---------	------	-----

所管部課	子ども家庭課
------	--------


1 土地データ

所在地 (地区)	輪厚中央4丁目13番地1	敷地面積	844 m ²
	(西部)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和55年度
建物構造	SB	延床面積	253 m ²	経過年数	38年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	83,490千円	法定耐用年数	38年	市民1人当たり更新コスト	1,421円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	26人	25人	人	26人	認可保育園へ貸与			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳			
	収 入	利用料等		5,067	支 出	①施設維持コスト	修繕料	-
		国費		20,403		火災保険料	3	
		道費		10,874		維持管理委託料	41	
		その他		-		敷地借上料	-	
		市費(一般財源)		24,031		工事請負費	-	
	合 計			60,375	その他維持費	-	小 計	44
					②施設運営コスト	人件費	-	
					光熱水費	-		
					運営委託料	60,331		
				その他運営費	-	小 計	60,331	
				合 計(①+②)		60,375		
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	2322115.385円/人		1,028円/人		238,636円/m ²			

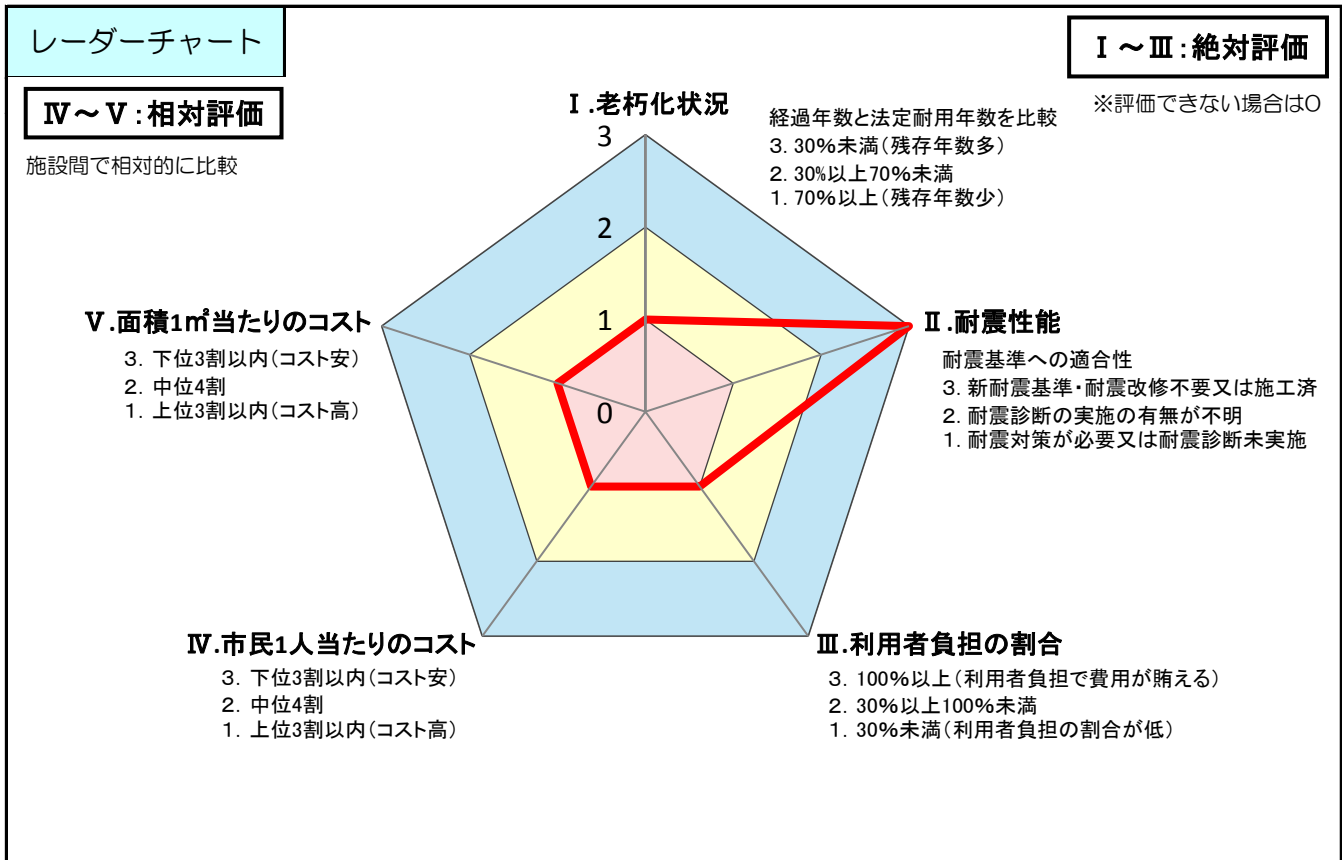
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H5	床改修	700			

5 特記事項

維持管理委託料は他3園と延床面積により按分。利用者数は園児数。施設運営コストは、当該施設で認可保育所を運営しているNPO法人子どもの家あおぞら保育園に市が支払った給付費と補助金の額で、財源内訳についても給付費と補助金の財源となっている。

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	100 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	8 (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1,028 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	238,636 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担の割合は低い(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	大曲東学童クラブ			
-----	----------	--	--	--

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	124
-----	---------	-----	---------	------	-----

所管部課	子ども家庭課
------	--------

1 土地データ

所在地 (地区)	大曲光2丁目8番地 (大曲)	敷地面積	1,202 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成9年度
建物構造	W	延床面積	325 m ²	経過年数	21年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	107,250千円	法定耐用年数	22年	市民1人当たり更新コスト	1,826円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	95人	106人	人	101人	市直営			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(千円)		内訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等		4,246	支 出	①施設維持コスト	修繕料	378
		国費		3,943		火災保険料	18	
		道費		3,943		維持管理委託料	386	
		その他		-		敷地借上料	-	
		市費(一般財源)		13,034		工事請負費	-	
	合計		25,166		その他維持費	-	小計	782
					②施設運営コスト	人件費	19,718	
					光熱水費	489		
					運営委託料	-		
その他運営費					4,177			
				小計	24,384			
				合計(①+②)	25,166			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	249,168円/人		428円/人		77,434円/m ²			

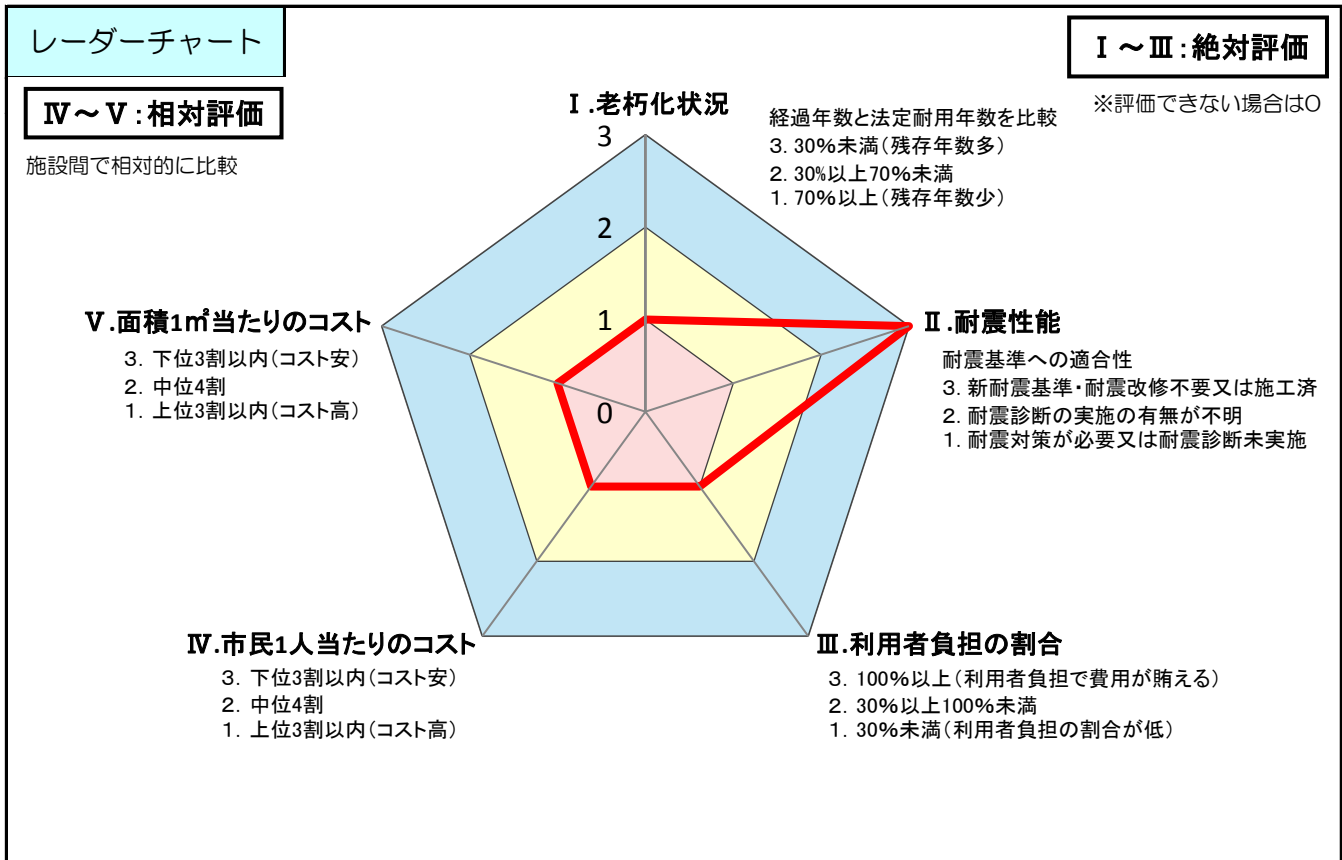
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H17	B館増築工事	24,150			
H25	屋根等修繕	1,754			

5 特記事項

人件費は臨時・非常勤放課後児童支援員分。

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	95 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	17 (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	428 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	77,434 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担の割合は低い(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	輪厚児童センター			
-----	----------	--	--	--

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	125
-----	---------	-----	---------	------	-----

所管部課	子ども家庭課
------	--------

1 土地データ

所在地 (地区)	輪厚中央1丁目10番地2	敷地面積	2,105 m ²
	(西部)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	西部学童クラブ			建築年度	平成15年度
建物構造	S	延床面積	495 m ²	経過年数	15年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	163,350千円	法定耐用年数	34年	市民1人当たり更新コスト	2,781円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
		13,032人	13,703人	人	13,368人	輪厚児童センター/委託、西部学童クラブ/市直営		
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等			1,716	① 施設維持コスト	修繕料	569
		国 費			2,236		火災保険料	14
		道 費			2,236		維持管理委託料	1,142
		その他			-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)			13,217		工事請負費	-
	合 計				19,405	その他維持費	-	
						小 計	1,725	
						② 施設運営コスト	人件費	14,788
							光熱水費	785
				運営委託料	-			
				その他運営費	2,107			
				小 計	17,680			
				合 計(①+②)	19,405			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	1,452円/人		330円/人		39,202円/m ²			



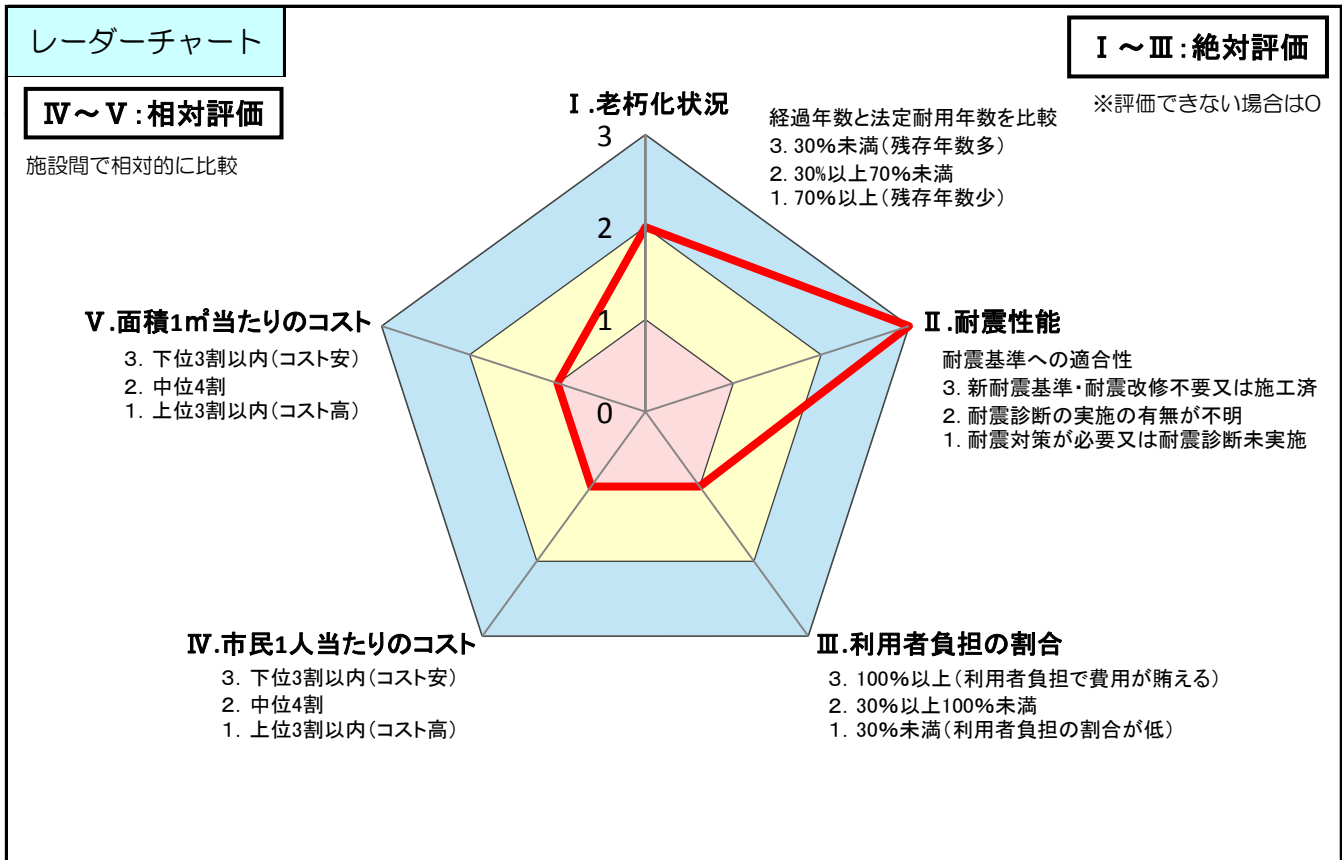
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)

5 特記事項

人件費は輪厚児童センターの臨時・非常勤児童厚生員分と西部学童クラブの臨時・非常勤放課後児童支援員分。

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	44 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	9 (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	330 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	39,202 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担の割合は低い(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	西部第二学童クラブ [※]			
-----	------------------------	--	--	--

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	126
-----	---------	-----	---------	------	-----

所管部課	子ども家庭課
------	--------

1 土地データ

所在地 (地区)	輪厚中央1丁目12番地1	敷地面積	15,187 m ²
	(西部)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成6年度
建物構造	W	延床面積	85 m ²	経過年数	24年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	28,050千円	法定耐用年数	22年	市民1人当たり更新コスト	478円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	16人	14人	人	15人	市直営			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等			611	①施設維持コスト	修繕料	70
		国費			1,107		火災保険料	6
		道費			1,107		維持管理委託料	182
		その他			-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)			4,940		工事請負費	-
	合 計				7,765	その他維持費	-	
					小 計	258		
					②施設運営コスト	人件費	6,537	
						光熱水費	98	
				運営委託料		-		
				その他運営費		872		
				小 計	7,507			
				合 計(①+②)	7,765			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	517,667円/人		132円/人		91,353円/m ²			



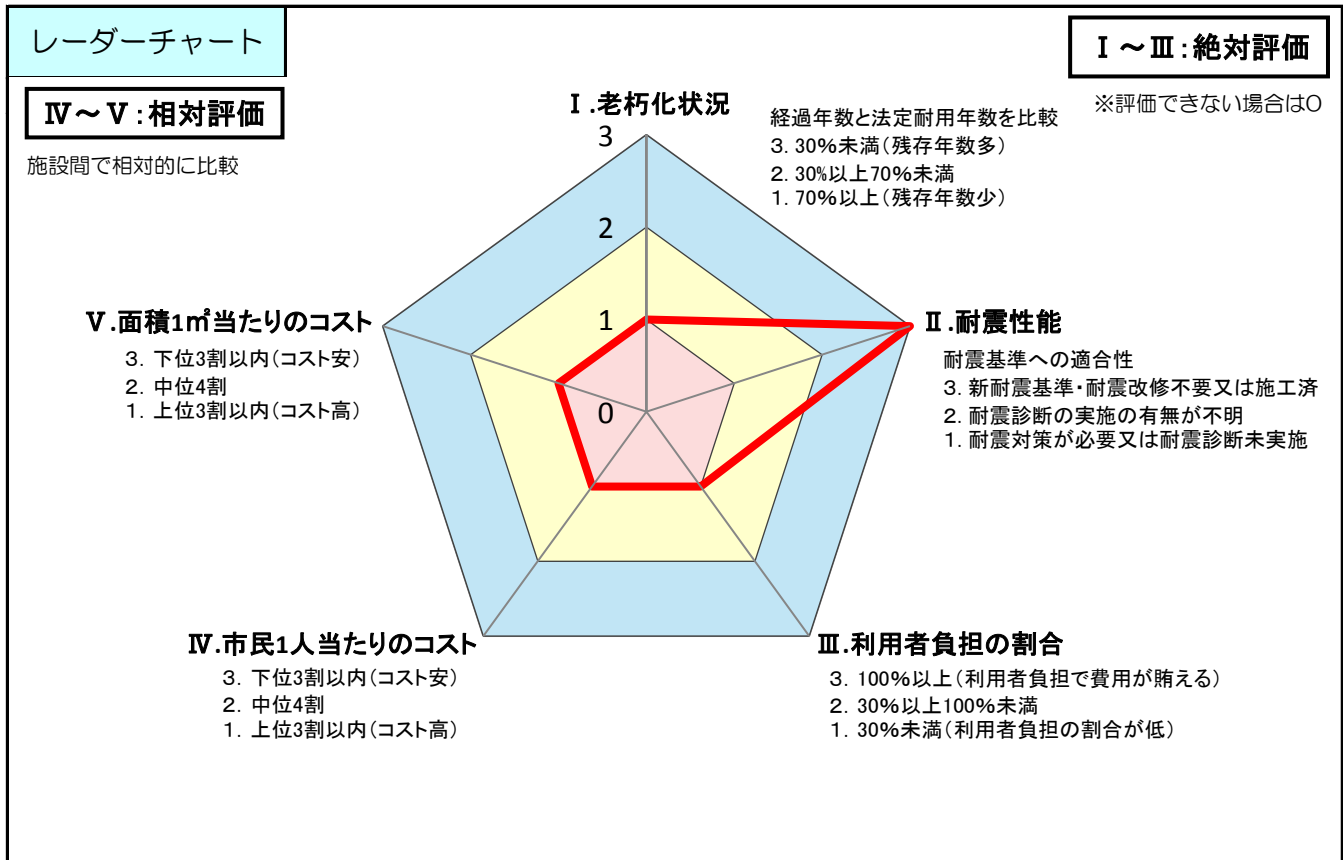
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H26	西部第二学童クラブ整備	6,480			

5 特記事項

西部中学校校長宅を転用。人件費は臨時・非常勤放課後児童支援員分。

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	109 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	8 (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	132 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	91,353 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担の割合は低い(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	東部学童クラブ(H31.3月頃竣工)		
-----	--------------------	--	--

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	127
-----	---------	-----	---------	------	-----

所管部課	子ども家庭課
------	--------

1 土地データ

所在地 (地区)	中央4丁目4番地 (東部)	敷地面積	18,273 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成30年度
建物構造	W	延床面積	344 m ²	経過年数	年
階数(地上)	1 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	113,520 千円	法定耐用年数	22 年	市民1人当たり更新コスト	1,933 円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態		
	人	人	人	- 人	市直営		
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		
	収 入	利用料等	-		① 施設維持コスト	修繕料	-
		国 費	-			火災保険料	-
		道 費	-			維持管理委託料	-
		その他	-			敷地借上料	-
		市費(一般財源)	-			工事請負費	-
	合 計		-		その他維持費	-	
					小 計	-	
					② 施設運営コスト	人件費	-
						光熱水費	-
			運営委託料	-			
			その他運営費	-			
			小 計	-			
			合 計(①+②)	-			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1 m ² 当たり		
単位コスト	- 円/人		円/人		円/m ²		

4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)

5 特記事項

--

6 データ分析

レーダーチャート

I ~ III : 絶対評価

IV ~ V : 相対評価

I. 老朽化状況

経過年数と法定耐用年数を比較
(経過年数/法定耐用年数)

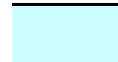
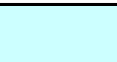
※評価できない場合は0

施設間で相

V. ̄

⋮

は施工済
 月
 新未実施



I. 老朽化

供用開始前のため対象外

(%)

II. 耐震性

あり

III. 利用者
 の

(%)

IV. 市民1人
 当た

(円/m²)

V. 面積1n
 当た

(円/m²)

総合評価

利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストは低い(IV)。

市内全施設の相対的な比較では、m²あたりの施設維持コストは低い(V)。